

鉄道ピクトリアル

2021年3月号 Vol.71 No.3 通巻No.983

〈特集〉列車の分割・併合

■表紙 拝島駅で分割する「ホリデー快速」……………末石 和寛

拝島 2020-11-23

■グラフ

付きつ離れつ—併結列車の興味— (1~8ページ)

井上英樹・渡邊裕太郎・吉岡真一・浜村正弘・白井 剛

……………赤座安彦・石原裕紀・下嶋一浩・与野正樹・山中 茂

……………川波伊知郎・原 敬一・高木喜一・日向 旭・池添智和

……………藤木正成・関 周一・進藤 匡・山口大助・萩尾恭弘ほか

併結列車の興味 過去の列車編 (92~99ページ)

……………早川昭文・森 友紀・長谷川 明・阿部一正・手塚正雄

……………星 晃・飯塚卓治・斉藤光男・千代村智之・森田 宏

……………沼尾吉晃・三島達夫ほか

*

列車併結・連結のドキュメント

……………写真：岡田誠一・三浦 衛・福田静二・斎藤 正… 34

往年の九州 特急・急行列車 分併の記録 ……………解説：大塚 孝… 40

485系電車の分割併合運転……………構成：編集部… 42

乗務員運転時刻表に見る分割・併合 ……………解説：尾崎幸弘… 46

岐阜駅10時の光景 ……………井上 英樹… 48

駅での連結・解放作業 今と昔……………構成：編集部… 49

首都圏「二階建て」列車の連結作業ウォッチング…構成：日向 旭… 50

*

Pictorial Color Gallery 万葉まほろばのステンレスカー…松好 弘明… 89

〔JR東日本E235系1000代(横須賀・総武快速線向け)／
流山市総合運動公園のD51 14, キハ31が整備される
／近畿車輛が創業100周年ほか〕 100~101
110

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………102

九州新幹線 西九州ルート of 建設状況……………原 敬一…111

連載・昭和の鉄景(第51回)……………椎橋 俊之…112

■本文

今月の話題：列車の分割・併合……………編集部… 9

列車分割・併合の基礎知識……………青田 隆道… 10

分割・併合システムの移り変わり……………野 元 浩… 24

列車の分割・併合 ピックアップ ……………柴田 東吾… 57

かま屋のこぼれ話—分割と併合の悲喜劇— ……………松本 正司… 65

東海道本線の三階建て客車急行「大和」「能登」「伊勢」
……………三宅 俊彦… 72

*

鉄道の話 ……………編集部… 33

スカ形国電の最盛期(2)……………河 昭一郎… 80

JRグループ2021年3月13日ダイヤ改正の概要……………編集部… 84

書評(72)『戦後大阪の鉄道とターミナル小売事業』…三木 理史… 88

JR東日本E235系1000代 ……………浅利 慎吾…113

鉄道技術との60年③ 一部外者も活躍してきた時代— ……曾 根 悟…122

DD51形 往年の運用表から(早岐編)……………三宅 俊彦…126

12月のメモ帳 ……………129

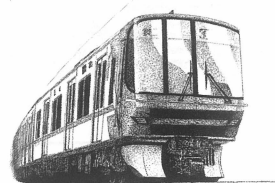
読者短信・情報ファイル……………130

後部車から……………133

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

列車の分割・併合

鉄道の運転においてはさまざまな業務があるが、通常は利用者が実地にそうした業務を垣間見られる機会は多くない。運行中の列車の乗務員室で乗務員がどのような業務をしているのかなどは、客室からいわゆる「かぶりつき」で理解できる部分もあるが、所作の本質を見極めるのは鉄道ファンといえどもなかなか簡単なことではないと思われる。そうした数々の運転業務の中で、ホーム上で実演される列車の分割・併合の作業は、機器および実務者の動きの一部始終がホーム上で容易に見て取れ、接することが可能で(実務当事者から見れば邪魔と思われるかもしれないが)、鉄道興味の醍醐味ともいえるシーンである。実際、駅で列車が切り離されたり、連結されたりする場面では、鉄道ファンはもとより一般の利用者もその作業に見入って、ホーム上が人だかりとなっていることも少なくない。

こうした列車の分割・併合は、列車を如何に効率よく運行するかなど、輸送需要をはじめさまざまな理由により行われるもので、JR、民鉄を問わずローカルから都市鉄道、在来線から新幹線に至るまで各所で見られる。国鉄の時代は1つの列車が枝分かれのように運行した多層建て列車も存在し話題となった。一方、分割・併合に関わる車両システムも、自動連結器、密着連結器、電気連結器と大きく発展している。かつては連結器とともに何本ものジャンパ栓の脱着が扱われ分併も大掛かりだったが、今や多岐にわたる栓類が連結器に組み込まれ、車上の乗務員室のスイッチで分併が可能となるシステムが一般的で、ホロも自動で稼働するスタイルが多くなった。ただ、自動化がどんなに進んでも、編成がくっついたり、離れたりする様子は、見学者として興味津々で、鉄道ならではの光景として身近な事象であって、楽しいものである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan